

事務事業評価表 平成22年度

政策 環境と調和する都市の構築
 施策 人と地球にやさしい環境の創出
 基本事業 地球環境保全への取組

事業名 **環境管理計画等推進事業**

[0021]

部名	生活環境部	事業開始年度	平成12年度	実施計画事業認定	対象
課名	環境室環境課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>・市民 ・事業者</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>環境管理計画中期推進計画に基づく環境配慮活動の普及啓発を環境経営セミナーの開催や広報活動等を通じて行う。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>環境施策の実施・浸透により環境に配慮した行動をしている市民・事業者を増加させる。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民(10月1日現在)	人	123,537	123,054	122,568	122,568
対象指標2	市内全企業数(法人+自営業者)	社	3,330	3,294	3,330	3,339
活動指標1	広報などによる情報発信件数	件	15	15	12	15
活動指標2						
成果指標1	省エネに取り組んでいる市民割合	%	47.9		50.3	
成果指標2	環境配慮活動に取り組んでいる事業所数	事業所	24	26	30	26
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	1,943	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	10,049	10,865	9,958	9,994
総事業費(A)+ (B)		千円	11,992	10,865	9,958	9,994

費用内訳	
21年度	0

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	平成7年度に策定された「えべつアジェンダ21」(江別市環境管理計画)を、多様化する環境問題に対応させるため、これまでに行ってきた基礎調査、定量目標等の設定を踏まえ、計画を見直しながら、普及啓発を行うもの。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価(7月時点)

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は?

市域全体の環境政策全般にかかわる基本計画であることから、市が主体となり実施すべき事業であり、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は?

市民・事業者・市が協働して取り組むものであり、市域の環境を良好に維持していくためには不可欠である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか?計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか?

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は?

平成22年度に実施した市民アンケート調査では、省エネに取り組んでいる市民の割合が前回の調査結果に比べ2.4%増加した。また、事業所においては、環境マネジメントシステムの認証取得が4件増加した。市民及び事業者とも、近年環境意識の高まり等が著しく、今後も数値の向上が期待される。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか?その理由は何ですか?

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は?

環境配慮活動の重要性・必要性について、市広報やHP等を通じて広く周知を図るほか、気軽に取り組みや参加ができる場を提供することにより、成果が向上すると考える。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)

ある
 ない

理由・
 根拠は?

中期推進計画を進行管理するために最小限必要な従事職員数(人工数)である。